

【働く】施策の柱13

①予算事業名	国際海洋資源・エネルギー利活用推進事業	予算科目	2-1-10-24	基本構想上の位置づけ上段：「島づくり目標」 下段：「施策の柱」	連携する産業振興		
②担当部課名	プロジェクト推進課	事業実施(予定)年度	H30~H32	基本計画の該当箇所	くらしの立つ農業地域づくり 施策の柱13-2		
③事業内容	・海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、平成26年7月21日に「国際海洋資源・エネルギー利活用推進コンソーシアム」が設立された。本コンソーシアムが主体となって、取水量10万吨敷設と国際海洋資源・エネルギー研究センター建設を目指す。本事業では海洋深層水を使った新しい農業(冷熱栽培等)の促進を図るため、取水量10万吨敷設に向けた事業化に取り組む。						
④実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
⑤事業費【単位:円】		28年度	29年度	30年度	31年度(予定)	32年度(予定)	
	財源内訳	(a)国庫					
		(b)県費					
		(c)地方債等					
		(d)一般財源	9,794,000	6,091,000	5,739,000	100,000,000	100,000,000
		計(a~d)	9,794,000	6,091,000	5,739,000	100,000,000	100,000,000
	特定財源名	(a) または (b) の名称		(c) の名称			
⑥事業計画	年度	実施する具体的な事業の内容					
	平成30年度	海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、取水量10万吨敷設に向けた事業化に取り組む。(国、県への働きかけ、事業申請等)					
	平成31年度(予定)	海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、取水量10万吨敷設に向けた基礎調査(深浅測量・環境生物調査等)を行う。					
	平成32年度(予定)	海洋温度差発電と海洋深層水の総合的利用を組合せた「久米島モデル」実現のため、取水量10万吨敷設に向けた基礎調査(磁気探査・土質調査等)を行う。					
⑦成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値(29年度)	30年度	31年度	32年度	目標値(37年度)
	深層水利用企業の年間総売上額	目標	()	(-)	(-)	(-)	(-)
	※深層水供給開始時期が不明なため、未記載	実績	-	-	-	-	
	深層水利用企業の直接雇員人数	目標	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
	※深層水供給開始時期が不明なため、未記載	実績		-	-	-	
	事業成果効果等	深層水供給開始10年後、 海洋深層水関連企業の年間総売上額 8,055百万円 深層水利用企業の直接雇員人数 450人 ※参照 平成29年度離島地域における海洋深層水を活用した地域活性化可能性調査調査報告書(内閣府沖縄総合事務局)			平成27年度実績 海洋深層水関連企業の年間総売上額 2,480百万円 深層水利用企業の直接雇員人数 140人		
⑧写真及び図面	エネルギー・水・食糧自給のモデル地域 取水量10倍でできること			増加する深層水需要と主要新規プロジェクト			